

(1) 豊後大野市食育推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 豊後大野市食育推進計画（以下「計画」という。）に関する諸活動を積極的に推進するため、豊後大野市食育推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画の推進に関する事項
- (2) 前号に定めるもののほか、市長が特に必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内で組織する。

- 2 委員は、食育に関して十分な知識と経験を有する者、食育の推進に関係する団体の役員又は職員その他市長が適当と認める者のうちから市長が委嘱する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 協議会に委員長及び副委員長1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、特に必要があると認めるときは、委員以外の者に対し協議会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(会議の公開)

第7条 会議は、公開するものとする。ただし、協議会が公開しない旨の議決をした場合は、この限りでない。

(専門部会)

第8条 専門的な検討を行う必要があるときは、専門部会を置くことができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、市民生活課において処理する。

(その他)

第10条 この告示に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が協議会に諮って定める。

附 則

この告示は、公示の日から施行する。

(2) 豊後大野市食育推進協議会委員名簿

区 分	平成25年度		平成30年度	
	所属・職名	氏名	所属・職名	氏名
食育に関する 専門的な知識 や経験を有する者	医師会代表	宮 脇 貴 史	医師会代表	宮 脇 貴 史
	三重総合高等学校	竹 内 美 穂	三重総合高等学校	大 塚 裕 子
	栄養士会代表	小 代 京 子	栄養士会代表	倉 原 恵 子
	学校栄養職員	村 上 智 美	学校栄養教諭	瀧 範 子
食育の推進に 関係する団体	P T A連合会 母親部会代表	後 藤 和 佳 子	P T A連合会 母親部会代表	甲 斐 真 由 美
	保育園調理部会代表	富 田 亜 希	保育園調理部会代表	野 仲 久 美 子
	幼稚園代表	川 邊 真 由 美	幼稚園代表	深 田 純 子
	J A女性部代表	進 藤 和 代	J A女性部代表	武 藤 さ ゆ り
	商工会女性部代表	小 野 加 代 子	商工会女性部代表	後 藤 博 子
	食生活改善推進協議 会代表	赤 嶺 恵 子	食生活改善推進協議 会代表	河 野 悦 子
	料理研究家	原 田 と も 子	料理研究家	原 田 と も 子
	おおいた食育人材 バンク登録者	甲斐田 八夜子	女性人材リスト	白 田 成 美
	生産者代表	栗 田 洋 蔵	生産者代表	栗 田 洋 蔵
	生産者代表	小 野 今 朝 則	生産者代表	福 井 敏 之

助言者	豊肥保健所 地域保健課 主幹（総括）	久々宮浩子	豊肥保健所 地域保健課 課長補佐（総括）	津田克彦
-----	--------------------------	-------	----------------------------	------

事務局	市民生活課長	後 藤 文 夫	市民生活課 課長	後 藤 貴 子
	市民生活課参事	甲 斐 八 重 子	市民生活課健康推進 室 室長兼参事	恵 藤 由 美
	母子企画係長	衛 藤 浩 子	健康づくり支援係兼 食育推進係 係長	羽 田 野 宏 章
	副主幹（保健師）	朝 見 由 佳	主幹（保健師）	庄 司 直 美
			主幹（栄養士）	柴 田 幸 恵
			副主任（栄養士）	川 野 綾 香

(3) 第2次食育推進計画中間評価 検討経過

年 月 日	協議会 専門委員会・作業部会	内容
30年5月10日	第1回食育推進作業部会	○食育推進計画の概要について ○中間評価に向けての流れ
7月26日	第1回食育推進協議会	○食育推進計画の概要について ○アンケート調査の進捗報告
8月7日	第2回食育推進作業部会	○食育推進計画中間評価に向けて施策・ 取組・指標の見直し
10月24日	第3回食育推進作業部会	○アンケート内容の読み取り ○食育推進計画に向けて評価項目・評価 方法・行動指針の検討
31年2月15日	第4回食育推進作業部会	○食育計画中間報告書(案)について
2月22日	食育推進専門委員会	○食育計画中間報告書(案)について
3月7日	第2回食育推進協議会	○食育計画中間報告書(案)について



【食育推進協議会】

食育に関する十分な知識と経験を有する方や、食育の推進に関係する団体の役員等で構成され、食育推進計画に関する諸活動を積極的に推進する。



【食育推進専門委員会】

食育推進協議会が必要とした専門的な内容について検討。副市長を委員長に、市役所内関係部署課長が委員として構成され、食育計画の策定や食育推進事業実施の推進にあたる。



【食育推進作業部会】 食育推進専門部会の取り扱う課題を具体的に検討する。



(4) 関係課の取組 (平成26～30年度)

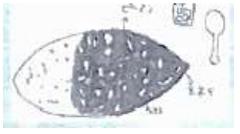
課名	基本目標 行動指針	事業名	事業のねらい・目的
まちづくり 推進課	食で育てる 家族団らん等の 交流会の充実	国際キャンプ	<ul style="list-style-type: none"> 講師の指導で外国の料理をみんなで協力して作ることで、会話が生まれたのしく仲間作りをする。 食文化の違いに気づく。
環境衛生課	食で守る 環境に配慮した 食育の推進	生ごみ処理容器(コンポスター) 給付事業	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会形成に向けた取組の一環。
人権・部落差別解消推進課	食で育てる 食を大切に する心を 育む	男性応援セミナー (～H27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 家事のできる自立した男性の育成と仲間づくり。介護の学習の機会となる。
		ふれあい料理教室	<ul style="list-style-type: none"> 手軽な料理を学び、料理の楽しさを身につける。
	児童館交流事業 ※社会教育課と共催	<ul style="list-style-type: none"> 大野児童館の子どもたちと地域住民との交流を図る。 芋植えとその維持管理を行うことで、収穫と食べることの喜びを味わう。 	
	女性人材リスト	<ul style="list-style-type: none"> 女性人材リストの周知をする。 食を大切に する心を 育む。 家族団らん等の交流会機会の充実を図る。 	
	転入女性交流会 (～H28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 転入女性の暮らしやすい社会づくりのため。(H29年度、30年度はまちづくり推進課が実施) 	
子育て支援課	食で守る 環境に配慮した 食育の推進	夏休み！家族でエコクッキング (～H27年度)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活における、省エネ、ごみ排出減等のライフスタイルを学び、省エネに関する共通認識をもってもらおう。
	食を広める 情報の収集、共有発信	食育だよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の献立表にレシピや食材の産地など掲載することで、保護者へ食育の啓発を行う。
		食で育てる 食を大切に する心を 育む	市内児童館・認定こども園での食育教室
		親子対象の料理教室	<ul style="list-style-type: none"> 親子を対象に、学習と実習を通じて食育の推進を図るほか、交流の場づくりを行う。

課名	基本目標 行動指針	事業名	事業のねらい・目的
高齢者福祉課	食を広める 食育活動者の育成支援	元気もんシェフ派遣事業 元気もんシェフ拡大事業（H27年度～）	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の食を通じた自立、健康寿命延伸、在宅生活の延長を目的として、食（栄養）について学習する。 ・高齢者の生きがいづくりや、閉じこもり予防となる。
	食で守る 健康づくりの推進	介護予防食生活ふれあい事業（～H29年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきと自立した老後を送れるよう、食への関心を高めるきっかけづくりの場と、閉じこもりを予防する。
農業振興課	食で育てる 食を大切にすることを育む	小学生との交流会 学農連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内産野菜のPR、地産地消、青年農業生産者による農業の振興と養豚生産者による畜産の振興を行う。 ・学校教育に農業を取り入れることにより、生きていくうえで大切な農業について、子供の関心を高めてもらうとともに、農業経営に関しても興味を持ってもらう。
	食で守る 環境と調和のとれた農林業の推進	安全・安心農業推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料や化学合成農薬を一切排除又は極力軽減した農業技術を調査して、安全・安心な農産物づくりや自然にやさしい農業を推進する。
	食でつなぐ 地産地消の促進 消費者と生産者の交流促進	豊後大野さといも産地活性化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県内有数のさといも産地として、さといもを園芸振興の戦略品目の一つと位置付け、消費拡大に取り組み、今後さらに一層の産地化を目指す。
農林整備課	食を広める 情報の収集、共有発信	BUNGOおおのB級グルメマップ（H25.26年度） 全国乾ししいたけ振興大会（H29年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・乾しいたけの魅力発信、消費拡大、地域活性化につなげる。 ・多くのしいたけ関係者に生産の拡大に向けた情報を発信し、全国の消費者に安全・安心な乾しいたけをPRする。
	食で広める 情報の収集、共有発信	「大分の野菜畑 ぶんごおおの」の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「大分の野菜畑ぶんごおおの」のキャッチコピーを掲げ、市場やイベント等でPRすることで豊後大野野菜の魅力を発信する。
商工観光課	食でつなぐ 地産地消の促進 生産者と消費者の交流促進	特産品販路拡大事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「大分の野菜畑ぶんごおおの」のキャッチコピーを掲げ、野菜ソムリエ協会やイベント、広告等を活用し、市内外に豊後大野野菜・加工品の魅力を発信し、地産地消、交流人口の増加につなげる。
	食文化の継承と発展	薬膳料理セミナー（～H27年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用し、食と農の地域内循環を形成し、地域コミュニティを再構築する。
	食文化の継承と発展	おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン（DC）の取組（～H27年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年7～9月にJRグループ・大分県・市町村・観光事業者が連携した大型観光キャンペーン、デスティネーションキャンペーンを機に価値ある商品を生み出し、観光振興につなげる。

課名	基本目標 行動指針	事業名	事業のねらい・目的	
学校教育課	食を広める 情報の共有・発信	学校給食における食育のとりくみ	・バランスのとれた規則正しい食事が体の成長や健康の保持増進に重要であるため、給食を「生きた教材」として活用し、伝える。	
	食で育てる 食を大切にする心を育む	教育 TRY 運動の推進 「食に TRY」事業	・児童生徒が食に関する正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく力を身に付け、望ましい食習慣を形成する。	
		「弁当の日」の取組	・中学校の実践目標「弁当の日」を設定し、家庭と連携しながら取り組む。小学校でもPTAと連携し取り組む。	
食でつなぐ 地産地消の促進 生産者と消費者の交流促進	学校給食における食育のとりくみ	・自分の住む地域の産物やそれらの生産等を行う人々、地域の風土や伝統に根ざした食文化や食生活について理解し、愛着心を持たせる。		
社会教育課	食で育てる 食を大切にする心を育む	放課後チャレンジ教室・家庭教育学級・通学合宿事業	・食を通じて「いのち」を見つめ直し、学校や職場、家庭や地域に笑顔を広げる。 ・地域の食材を利用することにより、自然の恩恵や感謝の念や理解を深め、地域の方と交流を深める。	
		高齢者学級	・食品の生産・加工・流通・消費までの流れを学び、実際の施設を見学し、食べ物に対する感謝の気持ちと命の尊さを学ぶ。	
		夏休み子ども教室（H24～26年度）	・弁当箱に詰めるところまでを体験し、弁当を作ることの大変さと同時に出来上がりの満足感を感じてもらおうとともに、弁当を作ってくれる家族への感謝の心を学ぶ。	
		ネイチャースクール（H26年度）	・地元食材を使用しておやつ作りをとおして、食の大切さなどを体験する。	
		家庭教育学級子育てキャンパス（～H26年度）	・親子で料理をすることによって、触れ合いを深める。また、自分で作った物を美味しく食べることを体験する。	
	食で守る 家族団らん等の交流会の充実	お菓子デコ教室（H29年度）	・お菓子作りを通して作る楽しさを知ってもらい、またお菓子や食に関する本の紹介を行うことにより、図書館利用の促進をはかる。	
	食でつなぐ 生産者と消費者の交流促進	豊後大野市児童生徒農業体験活動補助事業「子ども農楽校」	・地域の農業生産法人の御協力のもと、市内の小中学生に対して、農業体験（水田、野菜作り等）を通年で体験させることにより、自然の尊さ、緑の大切さ、農業や食の素晴らしさを実感させる。将来、農業を志す子どもの夢の実現への一助になってほしい。	
		子ども教室ジュニアの部「お魚のさばきかた教室」（大分県漁業協同組合女性部）	・山間部に位置する豊後大野市では、魚になじみがなく魚嫌いの児童が多いため、魚を食材にした教室を実施し、魚を好きになってもらうきっかけとする。	
		食文化の継承と発展	小学生対象料理教室（食推協朝地支部）	・「食」を通じて食への関心を高め、食の安全・安心を守り、郷土料理づくりや地産地消に取り組む。
			冬休み子どもセミナー	・地域、子どもが一緒になって活動することで、日本の伝統文化を継承し交流を深める。

(5) 市内小中学校の食育の取組 (市報平成29年6月号～31年1月号)

市報	学校	市報に掲載した内容	
29年 6月号	百枝 小学校	<p>○ランチルームでの給食会 オルゴールを鳴らして、その時間はおしゃべり無しで、食事に集中する時間をつくっています。</p>	
29年 7月号	犬飼 小学校	<p>○ふれあい給食会 PTAや授業公開日などを利用し、保護者と子どもたちが一緒に給食を囲む会を催しています。</p> <p>○お弁当の日 年に2回行っており、4年生はお弁当の日に向けておにぎりを作る練習をします。</p>	
29年 8月号	菅尾 小学校	<p>○全校生徒でいちご狩り体験 5月上旬に全校生徒でいちご狩り体験を行います。少し傷んでいるいちごは学校でジャムにさせていただきます。</p> <p>○さつまいもを使ったおやつ作り 各学年が混ざった「なかよし班」でおやつを作り、レシピは6年生が考えています。</p> <p>○地域の方々とのつながり いちご狩り、芋植え、田植え、餅つきなどの行事は地域の方々に支えられています。餅つきでは学校に杵と臼を作って贈ってくれました。</p>	
29年 9月号	緒方 小学校	<p>○郷土料理クラブ 食生活改善推進員の方をゲストティーチャーに郷土料理の実習を行います。</p> <p>○祖父母学級ふれあい大会 おじいちゃん、おばあちゃんと子どもたちが軽スポーツや手芸を通して交流を深める場になります。お昼はPTA役員が前日から準備してくれた豚汁をいただきます。</p>	
29年 10月号	千歳 小学校	<p>○弁当の日 努力遠足の日をお弁当の日とし、「初めてコース」「なかよしコース」「チャレンジコース」の3つのコースに分け、自分のできるコースに挑戦しています。</p> <p>○全学年を対象に行う歯磨き指導 各学年の歯の状態に合わせた歯磨き指導を行っています。</p>	

市報	学校	市報に掲載した内容	
29年 11月号	大野小学校	<p>○各学年で行う農業体験 4年生はおおのルンビニこども園とおおのさくら幼稚園の園児と一緒に落花生の収穫を、5年生は大野中学校3年生と稲作の学習を、6年生は小中合同のお弁当の日に中学校に行き、中学校生活についてや農業体験の話を聞きます。</p> <p>○地域の方との交流 地域の方が落花生の栽培や稲作作りを教えてくださいます。</p>	
29年 12月号	新田小学校	<p>○新田ふれあい広場 地域の方が先生となって、団子汁作りやお手玉などを教えてくださいます。材料になる竹の調達や団子汁の準備もしていただきます。</p> <p>○農業体験 学農連携推進事業に関わっており、カボス農園や加工場の見学をしました。また、豊肥振興局とも連携し、きのこについて学びました。</p>	
30年 1月号	清川小学校	<p>○食に TRY 事業～和食の世界を『味覚』と『視覚』で感じよう～ 清川町出身の和食料理人の「平田修治」さんを講師に、出汁のとりかたや秋を表現した飾り切りについて学びました。</p> <p>○清川小学校の取組 栽培活動に力を入れています。また、学校PTAのレクリエーションに親子での料理作りを実施する学級が多く、食に対する意識を高めています。</p>	
30年 2月号	三重第一小学校	<p>○努力遠足で弁当作りに挑戦 保健委員会の児童を中心に、集会を通して全生徒にお弁当の日の呼びかけを行いました。</p> <p>○各学年での農育体験学習 農作物を通じて食について学んでいます。5年生は収穫したお米を使ってご飯と味噌汁を作りました。</p>	
30年 3月号	朝地小学校	<p>○夏休みは自分で料理にチャレンジ 夏休みに「自分で料理にチャレンジ」という課題に取り組んでおり、提出してくれた献立は学校給食に取り入れています。</p>	

市報	学校	市報に掲載した内容	
30年 4月号	三重東小学校	<p>○2年目の取組となった弁当の日 弁当の日の事前準備として、高学年を対象におにぎりを握る練習をする「おにぎりの日」があります。</p> <p>○給食後の歯磨き指導 おやつをテーマに、歯が溶ける仕組みや砂糖の多いおやつについて学び、歯磨き指導につなげています。</p>	
30年 7月号	三重中学校	<p>○家庭科の授業での「食育」 1年生は6つの基礎食品群について、2年生は加工食品について学びます。</p> <p>○ハブラッシング・クラスマッチ 生徒会が行っている活動の一つで、毎月、給食後の歯磨きを行った生徒の割合を各クラスで競っています。また、職員室前の掲示板には、生徒会保健部と養護教諭が協力して、歯の健康についての取組を紹介しています。</p>	
30年 8月号	清川中学校	<p>○年4回行っている「弁当の日」 毎年4月の歓迎遠足と学期毎の期末 PTA の日を「弁当の日」として設定しています。</p> <p>○稲作体験学習 6月に田植え、11月に刈り取り収穫を全校で行います。収穫した米は、おこわやぜんざいにしてみんなでおいしくいただきました。その他にも10月には炭窯に原木を入れる炭入れ作業を行い、炭と木酢液を作っています。</p>	 
30年 9月号	緒方中学校	<p>○食の情報を届ける「ひとこと通信」 西部調理場の栄養士から「ひとこと通信」として定期的に食に関する情報を提供しています。</p> <p>○農業体験 野菜や米の栽培から販売までの過程を学習しています。</p>	 
30年 10月号	朝地中学校	<p>○年4回行う「お弁当の日」 朝地中学校では、学校行事のときに合わせて行っており、テーマも行事にあわせたものになっています。</p>	

市報	学校	市報に掲載した内容	
30年 11月号	大野中学校	<p>○「お弁当の日」は自作の弁当と一緒に写真撮影 毎回生徒は自作の弁当を持って記念撮影をし、「弁当作成自立度」と「工夫した点」「作った感想」を書いた用紙とともに校内に展示しています。</p> <p>○地域の方とのふれあい 地域の方々を講師に招き、6月に中学3年生は大野小学校の5年生と合同で田植えを行い、10月には稲刈りを行いました。12月には1年生が地元の食生活改善推進員の方と郷土料理を作る体験をします。</p>	
30年 12月号	千歳中学校	<p>○お弁当の日でステップアップ！ 平成39年度は生徒が楽しみながら取り組めるようにステップアップのシステムを取り入れました。ステップ1「おにぎり作り」、ステップ2「おかず作り」、ステップ3「お弁当作り」の3つに分けています。</p> <p>○歯(ハ)ッピープロジェクト 学校歯科医と連携して生徒のむし歯を予防する取組です。</p>	
31年 1月号	犬飼中学校	<p>○食ベトーク！ 昨年度から毎月第3火曜日に生徒会保体部の生徒が給食の放送時間を活用して、食に関する情報の発信を行っています。</p> <p>○PTA 食育標語 「食育に関する標語を親子で考えよう！」をテーマにPTAの文化研修部が生徒・保護者を対象に食育標語を募集し、文化祭で表彰を行いました。</p>	

(7) 用語集 (50音順)

*あけあじ減る塩大作戦

平成28年6月に大分県が実施した「県民健康意識行動調査」で明らかになった豊後大野市の健康課題「20～30歳代の肥満」、「塩分摂取過多」を改善するために、大分県地域健康課題対策推進事業として平成29年度より3か年計画で取り組んでいる。働き盛り世代を中心とした対象者に、健康情報の普及啓発、減塩グッズの活用、健康教室、保健指導などを実施している。

*栄養教諭

学校における食育を効果的に進めていくため、栄養に関する専門性と教育に関する資質を併せ持ち、学校における食育に関する連携調整を担う教育職員。栄養教諭は、子ども達に対する「食に関する指導」と「学校給食の管理」を一体的に行っている。

*おおいた人材バンク「食育ひろげ隊」

地域に食育をひろげるため食生活分野・食文化分野・生産体験・環境分野の各分野と組み合わせた連携分野などについて講話や調理実習、生産体験を実施したい保育所・幼稚園・学校・団体等に職位区を教える先生（指導者）を派遣する事業。（出典：大分県HP）

*学校給食1日まるごと大分県

平成28年度に制定された「大分県食育推進条例」第18条に、11月19日を「おおいた食（ごはん）の日」、その属する週を「おおいた食育ウィーク」とし、食育の推進に関する普及啓発を図るための行事を重点的かつ効果的に行うものとしている。大分県教育委員会では平成16年度から学校給食の献立に地元産または県内産の食材を活用し、その活用率を100%とする「学校給食1日まるごと大分県」の取組を毎年11月に実施してきたが、28年度から「おおいた食育ウィーク」期間中の任意の1日を実施日とした。（出典：大分県教育委員会HP）

*環境保全型農業直接支払交付金事業

環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行うもの

*家庭の日

家族みんなが顔をそろえ、子どもたちの健やかな成長を願う日のことで、毎月第3日曜日を「家庭の日」として定めています。（出典：大分県HP）

*GAP (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理)

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。（出典：農林水産省HP）

*共食

家族、友人、仲間などと、食事をつくり、食事の時間帯、場所、食物の内容などを共有し、コミュニケーションを図り、食関連の情報を伝承することなど、幅広い内容が含まれています。（出典：農林水産省HP）

*郷土料理

地域の産物を上手に活用して、風土に合った食べ物として、地域独自の調理方法で作られ食べられてきた料理。

* 県民健康意識行動調査報告

大分県が平成28年度に大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」に掲げる「健康寿命日本一」を実現するため、県民約2万人を対象に生活習慣等の健康に関する意識・行動の現状調査を行い、健康課題の要因となる生活習慣の市町村の地域差を明らかにし、課題を取りまとめたもの。

* 3010運動

宴会のはじめの30分と終わりの10分は席について料理をいただき、食べ残しをなくす運動。(出典：環境省HP)

* 食育

食事や食物に関する知識と選択力を身につけ、健全な食生活が送れるようにするための教育。(出典：文部科学省HP)

* 食育月間・食育の日

国民運動として、食育を推進するため、毎年6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」と設定。(出典：農林水産省HP)

* 食育SAT(サット)システム

1食分の食品サンプルを選んで機械の上に乗せるだけで「サッ！」と栄養バランスを星5つで判定する機器。(出典：大分県HP)

* 食生活改善推進協議会(食推協)

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、食を通した健康づくりのボランティアとして地域で活動をしている団体。(出典：日本食生活協会)

* 生活習慣病

食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発症、進行に関与する疾患群と定義されている。がん、心疾患、脳血管疾患、脂質異常症、糖尿病などがあげられている。

* 全国学校給食週間

学校給食の意義や役割について理解を深めるため、文部科学省が主唱して行われる啓発週間。(出典：文部科学省HP)

* 「DASH食」(Dietary Approaches to Stop Hypertension)

高血圧を予防する食事法の意味。
脱塩作用のあるカリウム、カルシウム、マグネシウムを多く摂取する食事。アメリカ国立心臓肺血液研究所が提唱した食事法。

* 地産地消

国内の地域で生産された農林水産物(「地場生産・地場消費」の略で、地元で生産された産物をその地域で消費、利用するという考え方で行われている取組のこと。(出典：農林水産省HP)

* 「地中海W a 食」(造語)

虚血性心疾患や認知症などの予防に効果があるとされる「地中海食」を豊後大野市のテイスト(趣)を取り入れた食事。魚、芋類(里芋)、きのこ、野菜などの食材にオリーブオイルやワインを効果的に使用した料理。豊後大野市の特産品を活用したレシピにアレンジしたもの。(出典:大分県HP)

* ぶんごおおの健康づくり10か条

豊後大野市第2次健康づくり計画の市民みんなで健康づくりに取り組む目標。
「第1条 朝ごはんを食べよう」「第2条 塩分を控えよう」「第3条 3食に野菜を食べよう」

* 豊後大野市教育TRY運動

ふるさとを愛し、たくましく生きる力を身に付けた心豊かな子どもの育成を安全・安心な教育推進。

- ・ T (Trinity) 三位一体 学校・家庭・地域
 - ・ R (Reform) 改革・改善
 - ・ Y (Yume) 子どもの夢へのチャレンジ
- (出典:豊後大野市教育委員会資料参照)

* 豊後大野市PTA連合会「家庭教育力UPの5か条」

豊後大野市PTA連合会が、共に育む親子のきずなをテーマに、平成24年度から取り組んでいる。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 早寝・早起き・歯みがきをしよう!2. 朝は「おはよう」のあいさつから始めよう!3. 朝ごはんをしっかりと食べよう!4. 家庭で食事の時間をつくろう!5. 家庭学習は時間を決めて取り組もう! |
|---|

* ぶんごおおの野菜ソムリエクラブ

日本野菜ソムリエ協会とのパートナーシップにより活動している任意団体。
(参考) 野菜ソムリエは一般社団法人日本野菜ソムリエ協会が認定する民間資格。野菜・果物の知識を身につけ、その魅力や価値を社会に広めることができるスペシャリスト。
(出典:日本野菜ソムリエ協会HP)

* 弁当の日

香川県綾川町立滝宮小学校で2001年に始まった試み「弁当の日」にならい、当市の学校行事の中でも取り組んでいる。弁当作りを通じて食への関心を深め、感謝の心を育むことを目的にしており、この日は子どもが保護者の力を借りずに自分で弁当を作る。
(出典:農林水産省HP)

* メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)

バランスの悪い食事や運動不足、ストレス、喫煙、過度の飲酒などの悪い生活習慣の積み重ねが原因で内臓に脂肪がつく「内臓脂肪型肥満」であり、加えて、高血糖・高血圧・脂質異常のうち、二つ以上を併せ持った状態をいう。